

令和 6 年 度

事業 報告 書

収 支 計 算 書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目 次

令和6年度 事業報告

I. 法人の概要

1. 目的	1
2. 沿革	1
3. 基金の状況	1
4. 役員並びに評議員	1
5. 名誉会長	2
6. 会議	
(1) 理事会の開催	2
(2) 評議員選定委員会の開催	4
(3) 評議員会の開催	5
7. 役員等変更	
(1) 評議員辞任に伴う一部改選 就任	5
(2) 辞任	6

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）	
(1) 周知方法	6
(2) 助成金申請受付状況	6
(3) 選考委員会	6
(4) 助成金交付件数及び助成額	7
(5) 交付対象となった研究概要	7
(6) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会	9
2. 特記事項	11

令和6年度 経理状況

貸借対照表（令和7年3月31日現在）	12
正味財産増減計算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）	13
正味財産増減計算書（内訳表）（令和6年4月1日～令和7年3月31日）	14
財務諸表に対する注記	15
附属明細書	16
財産目録（令和7年3月31日現在）	17
監査報告書	18

令和6年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 目的

兵庫県における科学技術の研究開発を助成し、科学技術に関する知識及び思想の普及並びに啓発に努めることにより、科学技術の発展と科学思想の浸透を図り、もって兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資することを目的とする。

2. 沿革

昭和51年4月17日 設立許可（昭和51年4月17日付兵庫県指令文第1－3号）
基本財産 2億円（出損者：兵庫県）
昭和51年4月26日 設立登記
平成25年4月9日 公益財団法人へ移行登記

3. 基金の状況

基 本 財 産	200,000,000円
出捐金受領年月日	昭和51年4月19日
出 捐 者	兵 庫 県
管 理 状 況	・ 楽天社債 104,272,524 円 契約締結日： 令和3年12月27日 ・ ソフトバンク G 社債 91,000,000 円 契約締結日： 令和4年 2月 4日 ・ 定期預金 454,891 円 ・ 普通預金 4,272,585 円

（注）出捐金はハニー化成㈱が兵庫県に寄附したもの。

4. 役員並びに評議員

令和6年5月21日改選後

財団役職	氏 名	所属・役職名
会 長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理 事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理 事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理 事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理 事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理 事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 社会価値創造機構長
理 事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監 事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監 事	前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長

財団役職	氏 名	所属・役職名
評議員	井上二三夫	シスメックス株式会社 理事 ※
評議員	山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授
評議員	川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長
評議員	青木 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部 知的財産部長
評議員	神戸 宏明	公益社団法人兵庫工業会 専務理事
評議員	山本 正剛	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長
評議員	團野 礼子	兵庫県産業労働部 次長

会長 1 理事 6 監事 2 評議員 7 (計 16 名)

※令和 6 年 9 月 30 日付辞任

5. 名誉会長

令和 3 年 12 月 2 日付就任 ※

財団役職	氏 名	所属・役職名
名誉会長	齋藤 元彦	兵庫県知事

※知事再選後の令和 6 年 12 月 11 日付就任

6. 会議

(1) 理事会の開催

① 第 1 回理事会

日時 令和 6 年 5 月 21 日 (火) 10:00～11:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者 (順不同・敬称略)

会長 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部

理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 参事役

理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長

理事 西野 孝 神戸大学大学院工学研究科 教授

監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 代表社員

監事 前川 学 兵庫県産業労働部 新産業課長

陪席 橋本 昌樹 兵庫県産業労働部 新産業課

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 鈴木監事・前川監事・橋本様は Zoom にて参加

議決事項

- (1) 第1号議案 令和5年度事業報告同収支決算（案）について
- (2) 第2号議案 評議員選定委員会開催（案）について
- (3) 第3号議案 評議員候補者の推薦（案）について
- (4) 第4号議案 評議員会招集（案）について

報告事項

代表理事の職務執行状況報告について

② 第2回理事会

日時 令和6年12月11日（水）13時00分～15時00分

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ
神戸市須磨区行平町3丁目1番12号

出席者（順不同・敬称略）

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 社会価値創造機構長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事	前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長

事務局 井上二三夫 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 畑理事・鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

- (1) 第1号議案 令和5年度兵庫県科学技術振興助成金 返還について
- (2) 第2号議案 令和6年度兵庫県科学技術振興助成金 交付について
- (3) 第3号議案 科学技術振興に関する第49回助成金贈呈の会について
- (4) 第4号議案 中間期事業報告について
- (5) 第5号議案 名誉会長の選任について

報告事項

- (1) 代表理事の職務執行状況報告について

③ 第3回理事会

日時 令和7年3月6日(木) 10:00～11:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者(順不同・敬称略)

会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 社会価値創造機構長
理事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事	前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長
陪席	橋本 昌樹	兵庫県産業労働部 新産業課

事務局 井上二三夫 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 畑理事・鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

(1) 第1号議案 令和7年度事業計画同収支予算(案)について

報告事項

(1) 代表理事の職務執行報告について

(2) 評議員選定委員会の開催

日時 令和6年5月21日(火) 11時00分～11時30分

場所 兵庫県工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者(順不同・敬称略)

選定委員	兼吉 高宏	兵庫県立工業技術センター 次長(技術調整担当)
選定委員	川井 諭	公益社団法人兵庫工業会 事務局長
選定委員	井上二三夫	シスメックス株式会社 理事
選定委員	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事
選定委員	前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長
出席理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役

注記 前川選定委員は Zoom にて参加

審議事項 第1号議案 「評議員選任の件」

(3) 評議員会の開催

日時 令和6年6月18日(火) 10:00～11:00

場所 兵庫県立工業技術センター 研究本館2階 セミナー室Ⅲ
神戸市須磨区行平町3-1-12

出席者(順不同・敬称略)

評議員	山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授
評議員	川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長
評議員	青木 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部 知的財産部長
評議員	神戸 宏明	公益社団法人兵庫工業会 専務理事
評議員	山本 正剛	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 社会価値創造機構長
理事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 青木評議員、山本評議員、畑理事、鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

(1) 第1号議案 令和5年度事業報告同収支決算の承認について

報告事項

(1)令和6年度事業計画同収支予算について

7. 役員等変更

(1) 評議員辞任に伴う一部改選 就任

令和6年5月21日付

評議員 團野 礼子 兵庫県産業労働部 次長

(2) 辞任

令和6年5月21日付

評議員 小林 拓哉 兵庫県産業労働部 次長

令和6年9月30日付

評議員 井上二三夫 シスメックス株式会社 理事

Ⅱ. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）

(1) 周知方法

- ・ 関係団体、県内各商工会議所・商工会・県民局等への案内送付
- ・ ホームページ掲載 ・ 内部機関紙告知（兵庫県発明協会 機関誌）

(2) 助成金申請受付状況

① 受付期間 令和6年7月1日～令和6年9月30日

② 申請件数・金額

一般企業	12件	5,970,000円
研究機関	0件	0円
合 計	12件	5,970,000円

(3) 選考委員会

① 日時 令和6年11月20日（水）10:00～12:00

会場 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室Ⅱ

出席者（順不同・敬称略）

委員 黒田 公一 ハニー化成株式会社 執行役員 明石事業所所長兼技術部部長

委員 山田文一郎 大阪市立大学 名誉教授

委員 西野 孝 神戸大学大学院工学研究科 教授

委員 児玉 裕三 神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野 教授

委員 山崎 徹 兵庫県立工業技術センター 所長

委員 前川 学 兵庫県産業労働部 新産業課長

陪席 井上 大輔 兵庫県新産業課 班長

事務局 井上二三夫 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 参事

事務局 相田 寧子 一般社団法人兵庫県発明協会 主事

注記 山崎委員は欠席につき評価の書面を提出

② 研究開発助成基準

1. 助成対象

兵庫県 県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関（大企業、大規模プロジェクトは含まない）が次に掲げる研究開発等の事業（以下「助成事業」という。）を行うに必要な経費を、会長が適当と認めるものについて、予算の範囲内において交付する。

（１） 研究開発の試作試験費に対する助成

（２） 新技術の実施化資金に対する助成

2. 選考基準

イ. 県下の科学技術の振興に寄与するもの。

ロ. 新規な学術または技術であること。

ハ. その計画が申請者において実施可能なものであること。

3. 選考方法

イ. 申請書、添付資料により審査を行う。

ロ. 必要に応じて内容聴取、または臨場調査することもある。

ハ. 選考は次の区分に評価する

A・・・助成金の交付が適当である

B・・・Aに準じる

C・・・助成金の交付は適当でない

ニ. 助成額は、年度予算を参考に選考委員の総意により、査定する。

（４） 助成金交付件数及び助成額

一般企業	5件	2, 500, 000円
研究機関	0件	0円
合 計	5件	2, 500, 000円

（５） 交付対象となった研究概要

「冷温兼用業務用ビールサーバーの開発」

株式会社精和工業所 代表取締役社長 原 克彦

ビールサーバーは一般的に冷却するサーバーを指すが、弊社は数年前からホットで飲むビール用に業務用のホットビールサーバーを開発し、イベント、店舗等に提供してきた。今回、タンク・チューブ熱交換型ビールサーバーにおける冷温兼用時の課題を抽出し、冷温兼用時のタンク水の最適な冷却方法、ヒーターや熱交換器、冷凍機の性能バランスと連続抽出杯数の検討を行い、弊社で製作しているホットビールサーバーへ冷却する技術を一体に合わせることで、冷温兼用のオールシーズンタイプのビールサーバーを開発試作して、その実用性を評価する。

助成金額 50万円

「液体封止用パイルシール」 三和テクノ株式会社 代表取締役社長 福井 和郎
織物や編物をベース基材にしたパイル材料は、粉体用シール材として広く用いられている。特に、トナーを用いるプリンター等の OA 機器においては、現像ユニット内部の現像ローラや感光体ローラの端部シールとして用いられ、ローラとの接触時における低発熱性や優れたトナーシール性にて、シール材として優れた効果を示すことが知られている。 このような、微小な粒径（8 μ 程度）の粉体をシールするパイル材において、粉体だけでなく液体もシールする機能が加われば、その用途は格段に広がるとの市場の声が強く、当社においてはこの要求を満足させるため、従来より撥水性を有するパイル材料の研究を行ってきた。 助成金額 50 万円
「言葉の意味を理解する AI 「マインド・エンジン」 を実装したメタバースの開発」 株式会社ロボマインド 代表取締役 田方 篤志
20 年以上自然言語処理を研究してきた私にとって自然な文章を生成できる ChatGPT の登場は衝撃的であった。ただ ChatGPT は入試問題は解けるが心はない。心とは、一緒に泣いたり笑ったり現実世界を経験することで育まれる。そこで私はメタバースで人と同じ世界を経験する AI アバターを作ることにした。AI の心が「マインド・エンジン」である。マインド・エンジンは言葉の意味を理解し、さらに ChatGPT を使って自然な会話ができる。今の AI に欠けている心を持った AI である。 AI で遅れを取った日本だが、ゲームやアニメの強い日本にとって心をもった AI で世界をリードすることは十分可能である。そんな次世代 AI を、この神戸の地から生み出したいと思っている。 助成金額 50 万円
「睡眠生体リズム解析から導出した睡眠バイオマーカ技術の確立と不眠改善の為に体内時計補正及び血流改善法の実証研究」 株式会社モノプロダ임 代表取締役 村瀬 亨
当社はスタンフォード大での研究を基に概日リズムの位相ズレ解析のアルゴを開発。簡易な皮膚装着温度計から脳内深部温度変化のうち体内時計の周期的成分の開発技術を確認し、睡眠バイオマーカと名付けた。本マーカを在宅で不眠改善の指標とし、不眠の主要因である①体内時計のリズム補正、②血流と放熱促進による眠気浸透改善に用いる。医師は問診・認知行動療法を用いるが曖昧な記憶に依存するという欠点がある。本マーカは、睡眠リズム改善が可視化でき利用者の 83%から効果ありとの評価を得た。今後疫学的にデータを蓄積し、小中高生の不眠、WLB、退職者不眠などテーマ別の不眠改善に役立て、国民共有資産として利活用していく。 助成金額 50 万円

「排熱回収装置」	株式会社ショウワ 代表取締役 藤村 俊秀
洗浄タンク等からの廃棄排水が保有する熱量の給水加熱への利用により、燃料消費削減を果たす装置である。排水を伝熱パイプへ均等に滴下させる工夫を凝らし、熱交換効果を最大限に発揮する機構としている。ポンプ等の動力機器や安全機器搭載も不要、故障リスクも低く、その場に設置するだけで使用開始できる、まさに SDGs の概念に合致した製品である。 伝熱パイプに異物の付着しにくい防汚処理を施すことで伝熱性能も低下しづらく、重量は約 13 kg とコンパクト、持ち運びも容易です。給水配管接続口は左右どちらの面にも変更可能で、本体側面パネルから熱交換部まで丸ごと取り外せる為、伝熱パイプやその底部の清掃も簡単に行える。	
助成金額 50 万円	

(6) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会

- ① 昨年に続き兵庫県立工業技術センターにて助成金贈呈の会と成果発表会を開催した。成果発表会は財団ホームページで広く参加者を募集し、兵庫県立工業技術センター研究員の皆さんも参加して開催された。発表者・受賞者・参加者による交流会を開催し、発表内容を中心に技術交流を行った。

日時 令和7年2月18日（火）13：30～16：30

場所 兵庫県立工業技術センター 本館 セミナー室Ⅲ

参加者 52名

内容

1. 科学振興に関する助成金贈呈の会 (13：30～13：50)

主催挨拶	公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 会長	神門 登
審査経過報告	助成金選考委員会委員長 大阪市立大学名誉教授	山田 文一郎 氏
来賓挨拶	兵庫県産業労働部次長	團野 礼子 氏

令和6年度助成金贈呈式

2. 令和5年度受賞者による研究成果発表 (14：00～15：20)

3. INPIT知財総合支援窓口の紹介 (15：20～15：30)

4. 参加者交流会 (15：40～16：30)

兵庫県科学技術振興助成金 年度別実績

(助成金単位:千円)

		一般		学校		機関		合計	
年度	回数	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
昭和 51	第 1回	9	6,330	3	3,050	1	1,150	13	10,530
昭和 52	第 2回	3	1,650	5	5,100	3	3,050	11	9,800
昭和 53	第 3回	12	6,600	3	2,400	—	—	15	9,000
昭和 54	第 4回	6	3,600	6	4,200	—	—	12	7,800
昭和 55	第 5回	4	5,000	5	4,000	—	—	9	9,000
昭和 56	第 6回	6	6,000	5	5,000	—	—	11	11,000
昭和 57	第 7回	5	6,400	6	5,600	—	—	11	12,000
昭和 58	第 8回	4	6,800	9	8,200	—	—	13	15,000
昭和 59	第 9回	5	6,000	7	7,400	—	—	12	13,400
昭和 60	第 10回	4	5,000	8	8,300	—	—	12	13,300
昭和 61	第 11回	5	4,000	6	6,000	—	—	11	10,000
昭和 62	第 12回	4	3,700	7	6,300	—	—	11	10,000
昭和 63	第 13回	5	3,600	7	6,400	—	—	12	10,000
平成 1	第 14回	5	3,500	8	6,500	—	—	13	10,000
平成 2	第 15回	2	1,900	9	8,100	—	—	11	10,000
平成 3	第 16回	3	2,800	8	8,400	—	—	11	11,200
平成 4	第 17回	5	4,000	7	6,000	—	—	12	10,000
平成 5	第 18回	3	2,200	6	5,800	—	—	9	8,000
平成 6	第 19回	2	1,300	3	3,700	—	—	5	5,000
平成 7	第 20回	0	0	5	5,000	—	—	5	5,000
平成 8	第 21回	1	550	2	1,450	—	—	3	2,000
平成 9	第 22回	1	500	5	3,500	—	—	6	4,000
平成 10	第 23回	1	800	4	3,200	—	—	5	4,000
平成 11	第 24回	2	1,400	3	2,400	—	—	5	3,800
平成 12	第 25回	1	750	4	3,050	—	—	5	3,800
平成 13	第 26回	1	750	4	3,050	—	—	5	3,800
平成 14	第 27回	1	300	5	3,500	—	—	6	3,800
平成 15	第 28回	0	0	5	3,300	—	—	5	3,300
平成 16	第 29回	0	0	5	2,900	—	—	5	2,900
平成 17	第 30回	1	300	6	3,300	—	—	7	3,600
平成 18	第 31回	5	2,100	3	1,500	—	—	8	3,600
平成 19	第 32回	2	800	3	1,200	—	—	5	2,000
平成 20	第 33回	3	900	3	900	—	—	6	1,800
平成 21	第 34回	4	1,200	3	900	—	—	7	2,100
平成 22	第 35回	4	1,500	2	600	—	—	6	2,100
平成 23	第 36回	6	1,800	5	1,200	—	—	11	3,000
平成 24	第 37回	2	500	4	1,200	—	—	6	1,700
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	—	—	7	2,000

		一般		学校		機関		合計	
年度	回数	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
平成 26	第 39回	1	300	4	1,200	－	－	5	1,500
平成 27	第 40回	3	700	3	900	－	－	6	1,600
平成 28	第 41回	3	600	4	1,100	－	－	7	1,700
平成 29	第 42回	2	450	3	750	－	－	5	1,200
平成 30	第 43回	1	200	6	1,400	－	－	7	1,600
令和 元	第 44回	4	1,100	2	500	－	－	6	1,600
令和 2	第 45回	2	1,000	1	500	－	－	3	1,500
令和 3	第 46回	2	800	3	1,200	－	－	5	2,000
令和 4	第 47回	4	1,900	1	500	－	－	5	2,400
令和 5	第 48回	4	2,000	1	500	－	－	5	2,500
令和 6	第 49回	5	2,500	－	－	－	－	5	2,500
合計		159	106,280	223	162,950	4	4,200	386	273,430

(注:機関助成は昭和52年度で整備完了につき終了)

2. 特記事項

開催日時	概要	場所
令和 6 年 5 月 08 日	令和 5 年度監査 (鈴木監事)	書面審査・オンライン
5 月 14 日	令和 5 年度監査 (前川監事)	兵庫県庁
5 月 21 日	第 1 回理事会	兵庫県立工業技術センター
5 月 21 日	評議員選定委員会	兵庫県立工業技術センター
6 月 18 日	定時評議員会	兵庫県立工業技術センター
6 月 20 日	公益法人定期報告	オンライン提出 (公益法人 info)
6 月 26 日	役員変更登記	神戸地方法務局
7 月 01 日	令和 6 年度助成金 申請受付開始	－
9 月 30 日	令和 6 年度助成金 申請受付締切	－
9 月 30 日	役員辞任登記	神戸地方法務局
11 月 20 日	令和 6 年度助成金 選考委員会	兵庫県立工業技術センター
12 月 11 日	第 2 回理事会	兵庫県立工業技術センター
令和 7 年 1 月 20 日	兵庫県発明協会新春交歓会出席	オリエンタルホテル神戸
2 月 18 日	科学技術振興に関する助成金贈呈の会	兵庫県立工業技術センター
3 月 06 日	第 3 回理事会	兵庫県立工業技術センター

貸 借 対 照 表
令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,521,218	1,931,947	589,271
現金	89,390	108,307	△18,917
普通預金三井住友銀行兵庫支店	2,431,828	1,823,640	608,188
流動資産合計	2,521,218	1,931,947	589,271
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	195,272,524	196,696,719	△1,424,195
普通預金三井住友銀行兵庫支店	4,272,585	2,848,390	1,424,195
定期預金三井住友銀行兵庫支店	454,891	454,891	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
投資有価証券	6,000,000	6,000,000	0
特定資産合計	6,000,000	6,000,000	0
固定資産合計	206,000,000	206,000,000	0
資産合計	208,521,218	207,931,947	589,271
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	650,000	650,000	0
流動負債合計	650,000	650,000	0
負債合計	650,000	650,000	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	7,871,218	7,281,947	589,271
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
正味財産合計	207,871,218	207,281,947	589,271
負債及び正味財産合計	208,521,218	207,931,947	589,271

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[3,312,614]	[3,312,614]	[0]
基本財産受取利息	3,312,614	3,312,614	0
② 特定資産運用益	[151,800]	[151,800]	[0]
特定資産受取利息	151,800	151,800	0
③ 雑収益	[504,214]	[46]	[504,168]
受取預金利息	4,214	46	4,168
過年度交付助成金返還額	500,000	0	500,000
経常収益計	3,968,628	3,464,460	504,168
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,684,102]	[2,707,438]	[△ 23,336]
委員会費	12,500	12,000	500
開発助成費	2,500,000	2,500,000	0
通信運搬費	66,414	54,583	11,831
消耗品費	50,888	75,055	△ 24,167
賃借料	14,300	15,800	△ 1,500
諸謝金	40,000	50,000	△ 10,000
② 管理費	[695,255]	[714,021]	[△ 18,766]
会議費	(37,600)	(46,500)	(△ 8,900)
旅費	30,000	42,000	△ 12,000
賃借料	7,600	4,500	3,100
事務費	(7,655)	(17,521)	(△ 9,866)
旅費交通費	0	560	△ 560
消耗品費	605	7,599	△ 6,994
通信運搬費	4,910	7,222	△ 2,312
雑費	2,140	2,140	0
事務委託費	(650,000)	(650,000)	(0)
経常費用計	3,379,357	3,421,459	△ 42,102
当期経常増減額	589,271	43,001	546,270
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	589,271	43,001	546,270
一般正味財産期首残高	7,281,947	7,238,946	43,001
一般正味財産期末残高	7,871,218	7,281,947	589,271
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	207,871,218	207,281,947	589,271

正味財産増減計算書(内訳表)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的会計		法人会計	合 計
	研究助成事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	[2,454,647]	[2,454,647]	[857,967]	[3,312,614]
基本財産受取利息	2,454,647	2,454,647	857,967	3,312,614
② 特定資産運用益	[151,800]	[151,800]	[0]	[151,800]
特定資産受取利息	151,800	151,800	0	151,800
③ 雑収益	[504,214]	[504,214]	[0]	[504,214]
受取預金利息	4,214	4,214	0	4,214
過年度交付助成金返還額	500,000	500,000	0	500,000
経常収益計	3,110,661	3,110,661	857,967	3,968,628
(2) 経常費用				
① 事業費	[2,684,102]	[2,684,102]	[]	[2,684,102]
委員会費	12,500	12,500		12,500
開発助成費	2,500,000	2,500,000		2,500,000
通信運搬費	66,414	66,414		66,414
消耗品費	50,888	50,888		50,888
賃借料	14,300	14,300		14,300
諸謝金	40,000	40,000		40,000
② 管理費	[]	[]	[695,255]	[695,255]
会議費	()	()	(37,600)	(37,600)
旅費			30,000	30,000
賃借料			7,600	7,600
事務費	()	()	(7,655)	(7,655)
消耗品費			605	605
通信運搬費			4,910	4,910
雑費			2,140	2,140
事務委託費	()	()	(650,000)	(650,000)
経常費用計	2,684,102	2,684,102	695,255	3,379,357
当期経常増減額	426,559	426,559	162,712	589,271
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	589,271	589,271		589,271
一般正味財産期首残高	7,281,947	7,281,947		7,281,947
一般正味財産期末残高	7,871,218	7,871,218		7,871,218
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000		200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000		200,000,000
III 正味財産期末残高	207,871,218	207,871,218		207,871,218

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準

公益法人会計基準(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準は原価法によっている。ただし、満期保有目的の債券のうち債券金額と取得価額に差額のあるものについては償却原価法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
楽天社債	105,696,719		1,424,195	104,272,524
ソフトバンクG社債	91,000,000			91,000,000
普通預金	2,848,390	1,424,195		4,272,585
定期預金	454,891			454,891
小 計	200,000,000	1,424,195	1,424,195	200,000,000
特定資産				
ソフトバンクG社債	5,000,000	0	0	5,000,000
ソフトバンク社債	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	6,000,000	0	0	6,000,000
合 計	206,000,000	1,424,195	1,424,195	206,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
楽天社債	104,272,524	104,272,524	0	0
ソフトバンクG社債	91,000,000	91,000,000	0	0
普通預金	4,272,585	4,272,585	0	0
定期預金	454,891	454,891	0	0
小 計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
ソフトバンクG社債	5,000,000	0	5,000,000	0
ソフトバンク社債	1,000,000	0	1,000,000	0
小 計	6,000,000	0	6,000,000	0
合 計	206,000,000	200,000,000	6,000,000	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第 5 回楽天社債	104,272,524	96,620,000	△ 7,652,524
第 5 回ソフトバンク G 社債	91,000,000	88,333,700	△ 2,666,300
第 5 8 回ソフトバンク G 社債	5,000,000	4,946,000	△ 54,000
第 1 9 回ソフトバンク社債	1,000,000	985,200	△ 14,800
合 計	201,272,524	190,884,900	△ 10,387,624

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	金 額
経常収益への振替額	0
合 計	0

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

引当金を設定していないため省略する。

財 産 目 録
令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	内 容	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手許有高	運転資金として	89,390
普通預金	三井住友銀行兵庫支店	運転資金として	2,431,828
流動資産合計			2,521,218
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	楽天社債	公益目的保有財産であり、運用益の74.1%を公益目的事業の財源として、25.9%を管理費の財源として使用	104,272,524
	ソフトバンクG社債		91,000,000
普通預金	三井住友銀行兵庫支店		4,272,585
定期預金	三井住友銀行兵庫支店		454,891
基本財産合計			200,000,000
(2) 特定資産			
投資有価証券	ソフトバンクG社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	5,000,000
	ソフトバンク社債		1,000,000
特定資産合計			6,000,000
固定資産合計			206,000,000
資産合計			208,521,218
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		(一社)兵庫県発明協会の令和6年度事務委託費	650,000
流動負債合計			650,000
負債合計			650,000
正味財産			207,871,218

監 査 報 告 書

令和 7 年 4 月 2 8 日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監 事 鈴 木 祥 克

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの令和 6 年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録は、法人の令和 6 年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 1 日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監 事 前 川 学

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの令和 6 年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録は、法人の令和 6 年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上